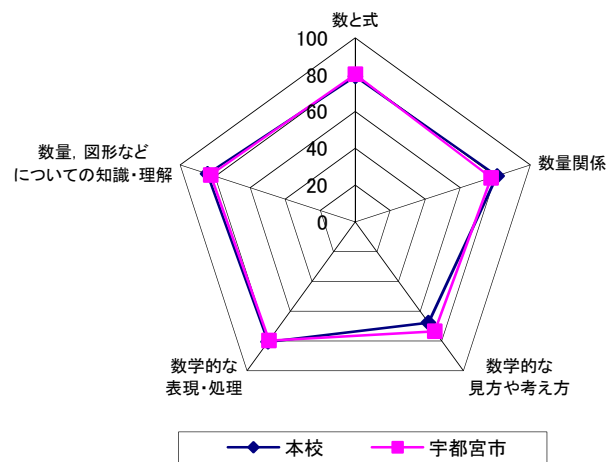


宇都宮市立瑞穂野中学校第1学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	79.0	80.2
	数量関係	81.0	77.6
観点別	数学的な見方や考え方	67.6	73.5
	数学的な表現・処理	80.5	79.7
	数量、図形などについての知識・理解	84.4	82.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (79.0%)	文字式の値、数量を表す文字式、数直線上の点、文字式の表し方、等式の性質に関する問題の平均正答率は宇都宮市の平均正答率を上回っているが、正の数・負の数の計算や文字式の計算、一次方程式に関する問題の正答率は宇都宮市の平均正答率より低い。	正の数、負の数の計算力や一次方程式の計算力といった基礎計算力の定着が図られていないので、授業やスタンダードテストを通じて今後も計算力の向上を図る必要がある。また、文書を読み取り数字や文字を使って表すことが苦手な傾向があるため、数量の関係を等式や不等式で表現する問題を授業の中で多く取り入れていく必要がある。
数量関係 (81.0%)	比例の関係やグラフ、反比例の表やグラフに関する問題の平均正答率は、宇都宮市の平均正答率を大きく上回っている。点の座標に関する問題の平均正答率が宇都宮市の平均正答率よりも低い。	座標に関する指導では、座標点をとる練習と座標点を読み取る練習に分けて丁寧に行ったが、さらに定着が図られるよう反復する場面を設定する必要がある。